



発行元：民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町 1-11-1

TEL：03-3595-9988（代表）

連絡先：民主党静岡県参議院選挙区第3総支部

静岡市駿河区南町 6-16 202-2

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993

号外



参議院議員

藤本祐司

2010年5月号

## 大切なことは、政治をわかりやすくすること

4月28日、事業仕分け第2弾が終了した。今回は、104ある独立行政法人のうち47の法人を対象に各団体の150事業について仕分けを実施した。事業仕分けは、枝野行政刷新会議担当大臣をリーダーに、静岡2区選出の津川祥吾衆議院議員や私と同期の蓮舫参議院議員など8名の仕分け人が行った。事業仕分けは、無駄な事業を見極めることが大きな目的ではある。ただ、無駄をいくら見つけたかということだけを重視しているのではなく、仕分けの課程を多くの国民のみなさんに見てもらうことにも大きな意義がある。政治を身近なことと感じてもらい、「何が無駄で何が無駄ではないか」を判断できる情報を国民が知ることこそが重要である。つまり、事業仕分けは、見えざる政治を“見える政治”へと転換する手段でもある。

私は、6年前に参議院議員に当選してからは、わかりにくい政治を“わかりやすい政治”に変えなければいけないとずっと考えてきた。政治をわかりやすくするというには2つの意味がある。

**1つは、『様々な情報を隠さずに国民に公開する』**ことである。情報を国会議員や官僚だけが知っているのではなく、できる限り国民にも知ってもらうことが重要である。その意味で、報道機関に全面的に公開し、一般の方も傍聴でき、さらにインターネットでもすべてを見ることが出来る事業仕分けはたいへん意義のある作業である。また、事業仕分けだけでなく、私が国土交通大臣政務官として事務局長を務める「観光立国推進本部」の『休暇取得の分散化ワーキング』も『観光連携コンソーシアム』も会議開始から終了まですべてマスコミに公開してい

る。通常は、会議の冒頭の座長挨拶だけ公開して、肝心の会議は非公開だった。このような全面的な公開は民主党政権ならではのことである。

もちろん、何でもかんでも情報を公開すべきとは思わない。防衛や外交上の問題など相手がいる場合は慎重にならざるを得ない。また、議論途中のことが決定事項のように受け取られると混乱する場合もあるため、ある程度のタイムラグ（時差）はやむを得ないとも思う。しかし、国民が「何が正しくて何が間違っているか」等を判断できる情報をできる限り提供することが政治をわかりやすくする1つの方法であることは間違いない。

**政治をわかりやすくするもう1つの意味は、『複雑な法律や制度を簡素化（シンプル）する』**ことであり、理解しやすい言葉で説明することである。官僚が作成する文章はわかりにくい。1つの文章が10行にも及ぶことがある。1つの文章の中に3つ以上の異なる内容の文章が無理やり句点（、）でつながられている。法律はわざとわかりにくくしているように思えるほど難しい。よほど頭の良い人でなくては理解できないように、制度をこれでもかこれでもかと複雑にしてある。税制はその典型である。せつかく民主党が政権を担ったのであるから、国民の多くが理解できる税制に単純化することに努力したい。

**“わかりやすい政治”こそが、国民参加の政治への第一歩である。そのための情報公開であり、制度や法律のシンプル化である。私は、わかりやすい政治の実現に向けて、この夏の参議院議員選挙に再び挑戦したい。**

沼津一中にはユニークな先生がいた。思い出すのは理科の当間（とうま）先生だ。中2の時、週番だった私は、授業の前日、先生に「明日の授業内容は？」と聞きに行った。先生は「明日は明日の風が吹く」とおっしゃった。私は、日程を書く黒板に“明日の風”と書いた。また、ある時、先生に「夕焼け空はなぜオレンジ色なんですか？」と質問したところ、先生はニヤッと笑って「そんなことは自分で調べろ」と答えられた。その時は、とんでもない先生だと思ったが、今となってみると、何でもすぐに人に聞かずに、まず自分の頭で考えろということだったのだろう。

当間先生にはたびたびクラス全員でいたずらをした。先生が教室に入る直前にクラス全員が机の下に隠れて、先生を驚かしたこともあった。その当間先生は、若くして交通事故で亡くなられたと後で聞いた。たいへん残念である。

中3の生徒会長選の時、クラス代表の候補者として、私に白羽の矢がたちそうな気配を感じた。一計を案じ、私は選挙管理委員に真っ先に立候補し、選挙管理委員長に任命された。結局、会長選挙に立候補させられたのは、

高村純君だったと記憶している。生徒会長選挙は接戦だった。特に女子の副会長選が激しく、同数で再選挙になったはずだ。

6年前の私の参議院議員選挙も接戦だった。テレビの選挙速報を観て一喜一憂する友だちの真剣な顔は今でも忘れられない。私は全国の選挙区で最後に当確が出た候補者だった。投票日当日には結果が出ず、日をまたいだ翌日未明になってから当確が出たのだ。それだけに当選が決まった時は感動した。選挙直後、沼津一中の同級生の間で、「こんなに興奮する選挙を経験すると、あと6年間選挙がないのも寂しいな。」「衆議院は周ちゃん（一中の後輩の渡辺周総務副大臣）がいるから駄目か。」「また何か選挙ないかな。誰か出るよ。」といったやり取りがあったらしい。

一中の同級生には大変お世話になった。選挙後に知ったのだが、選挙中、分担して県下を駆け回ってくれていた。ただ感謝するばかりである。誰かが言ってくれた。「藤本のおかげで、卒業後初めてみんながひとつの目的に向かって一体となって頑張った。楽しかったよ。」と。今では、年に何回か開いてくれる飲み会が楽しみだ。＜来月号に続く＞

＜お知らせ＞

◇「藤本ゆうじ、中部の集い」を5月23日（日）の17：00から開催（ホテルアソシア静岡）

前原誠司国土交通大臣と川勝平太静岡県知事をゲストにお迎えします。

\*会費は5,000円（軽食付き）です。申し訳ありませんが、定員になり次第締め切らせていただきます。お早めにご予約ください（チケットご希望の方は、お手数ですが、下記「藤本ゆうじ静岡事務所」までお問い合わせください）。

■民主党参議院議員藤本ゆうじのラジオ番組「藤本ゆうじのかる～くポリティックス」

\*5月の放送は5月28日（金）の18：30～19：00です。FMHi(76.9MHz)でお楽しみください。なお、6月は放送日が参議院議員選挙直前に重なりますので、一回お休みします。

■藤本ゆうじのホームページにアクセスしてください。 <http://www.fujimoto-yuji.org/>

\*藤本ゆうじの政府や国会での活動、政治姿勢や考え方を知ることができます。できる限り、更新しますので是非アクセスしてください。